

尾西食品、宮城県大崎市に新物流センター

Edited By LogisticsToday On 2018/07/06



アルファ米の非常食、宇宙食を販売する尾西食品(東京都港区)は6日、5月に竣工した宮城県大崎市の物流センターが本格稼働した、と発表した。

この物流センターでは、南海トラフ、首都直下型地震などに備え、自治体をはじめ、学校や企業などの備蓄に対し、安定的に商品を提供できる体制を整えるための機能を担う。隣接する工場で製造されるアルファ米からできた「ご飯シリーズ」「おにぎりシリーズ」などを取り扱う。

敷地面積は1万5000平方メートルで延床面積は3700平方メートル。保管スペース、生産スペースのほか、洗浄室、書庫、事務室を完備する。



■施設概要

所在地:宮城県大崎市古川

敷地面積:1万5000平方メートル

延床面積:3700平方メートル

保管スペース(2800平方メートル)、生産スペース(500平方メートル)のほか、事務室、洗浄室、書庫を完備

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/320599>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.